

船舶事故調査報告書

令和3年7月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故種類 | のり養殖施設損傷 |
| 発生日時 | 令和2年9月12日 11時45分ごろ |
| 発生場所 | 千葉県木更津市牛込西方沖 袖ヶ浦東京ガスシーバース灯から真方位248° 2.0海里付近 (概位 北緯35° 27.8′ 東経139° 55.9′) |
| 事故の概要 | プレジャーヨット ^{セルフィッシュ} Selfishは、航行中、のり養殖施設に進入し、同施設が損傷した。 |
| 事故調査の経過 | 令和2年10月6日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーヨット Selfish、10トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 230-50800東京、コーリョー開発株式会社 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 本船 なし のり養殖施設 のり網に破損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1m |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者5人を乗せ、牛込西方沖を北東進中、船長が、船首方に黄色のブイが多数見えたので、養殖施設があると思い、機関を停止したのち後進として西方に離れようとしたところ、推進器がのり養殖施設（以下「本件施設」という。）ののり網に絡み、同網が損傷した。</p> <p>本船は、本件施設を管理している漁業協同組合所属の船舶により、のり網からの離脱作業が行われ、推進器にロープが絡まっていたので、救助船にえい航された。</p> <p>船長は、養殖施設の位置情報を知らなかった。</p> |
| 分析 | 本船は、北東進中、船長が、本件施設の位置情報を把握していない中、本件施設に向かって航行したことから、船首方に黄色のブイが多数見えた際、本件施設があると思い、機関を後進として西方に離れようとしたところ、推進器がのり網に絡んで同網を損傷したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が北東進中、船長が、本件施設の位置情報を把握していない中、本件施設に向かって航行したため、船首方に黄色のブイが多数見えた際、本件施設があると思い、機関を後進として西方に離れようとしたところ、推進器がのり網に絡んだことにより発生したものと考えられる。 |

| | |
|--------------|---|
| 再発防止策 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、沿岸を航行する際、事前に養殖施設の位置情報を入手し、同施設から十分に距離を離して航行すること。 |
|--------------|---|